



土佐希望の家通信

＜発行＞重症心身障害児者施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107番地 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133
http://www.tosakibou.jp Email:info@tosakibou.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 神田 祐子



【中学部卒業生】
松田まなか 様(2病棟)
森本杏奈 様(2病棟)
【高等部卒業生】
山本純奈 様(2病棟)
岩村愛子 様(3病棟)
前田泰則 様(3病棟)



卒業式

若草養護学校土佐希望の家分校に通学されている利用者の皆さんが、このたび、ご入学、ご卒業されました。おめでとうございます。



【高等部入学生】
松田まなか 様(2病棟)
森本杏奈 様(2病棟)
山本 愛 様(3病棟)

入学式

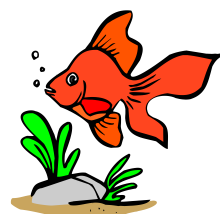


在宅の方々への関わりに加えて、これから施設に入所されている方々とも、相談支援という形で新しく関わっていくことになります。よろしくお願いします。

ここに、2年前から新しい仕事に加わりました。障害福祉サービスを利用している全ての方々に、どんなふうに住生活していきたいか、サービスをどのように利用していくのかをマネジメントする、「計画相談支援」が義務付けられました。土佐希望の家でも「相談支援事業所きぼう」を立ち上げて、計画相談支援を担当しています。現在は、コーディネーターと、相談支援事業所の職員を兼務しています。

森田實様、SDA高知キリスト教会様、小林豊様、北村忠司様、日本キリスト教団高知教会様、桂民謡会 志磨村優子様、門田作太郎様、北村忠司様、石川別子様、高知クリーン推進会様、後免地区社会福祉協議会様

「厚意」



小松義幸さんのちよつとい話です。隣の病棟(ひまわり)に新しく入った『金魚ちゃん』自分の金魚のエサを「これ、ひまわりの金魚に持つて行っちゃって」と分けてあげると言われる。さらに「入れ物にうつしかえて」プレゼント用に小さな空き容器に入れ変え準備していました。何気ない日常会話ですが、物を分け合うことに喜びを感じ、義幸さんの優しい心づかいにホッとしたひとこまでした。

3病棟あざみ 療育課長 武久京子

私の仕事 (25)



コーディネーター 竹村 淳

療育員からコーディネーターになり5年がたちました。目の前に現れることが、ひとつひとつ新しいことと思われるくらい多様で、追われる日々で、まだまだ半人前だなど感じています。

コーディネーターの仕事は、新しく土佐希望の家の各サービスのご利用の希望がある方に、各サービスの概要や利用に必要な手続き等を説明して、新しい環境に飛び込んでいく不安を少しでも小さくし、利用を開始していただくようにするものです。通所や短期入所を利用されている方、分校の生徒さんの困りごとのなかで、外部の機関などとのつながりが必要な時は、そのお手伝いをしています。

ここに、2年前から新しい仕事に加わりました。障害福祉サービスを利用している全ての方々に、どんなふうに住生活していきたいか、サービスをどのように利用していくのかをマネジメントする、「計画相談支援」が義務付けられました。土佐希望の家でも「相談支援事業所きぼう」を立ち上げて、計画相談支援を担当しています。現在は、コーディネーターと、相談支援事業所の職員を兼務しています。

在宅の方々への関わりに加えて、これから施設に入所されている方々とも、相談支援という形で新しく関わっていくことになります。よろしくお願いします。

入所成人式

3月16日2病棟の萩野未来様、岡林秀宜様の成人式が行われました。

式当日、萩野様の黒のワンピース姿、お化粧もして終始ご機嫌。子どものころは蟬取りやよさこい祭りが好きな女の子。去年の5月希望の家に入所後始めてお父さん、お母さんと一緒に行った一泊旅行の話などが紹介されました。

岡林様は緊張のあまり昼食を食べず心配しましたが、お父さんの顔を見るなり安心して笑顔に。中学校の修学旅行でアイスクリームが食べられなくて大泣きしている写真が紹介されると場内から笑いが。今ではみんなの喫茶で受付をする姿も紹介され、それぞれの20年を振り返りました。

その後は、各病棟職員によるお祝いの合唱「ビリーブ」に会場は涙、そして2病棟の看護、療育による「江差餅つきばやし」では男性陣の餅つきの様子に大爆笑。

20歳の抱負、萩野様は「ビーチチューハイが飲みたい」岡林様は「もつと外出をしたい」と述べ、会場は涙あり、笑顔ありの式でした。改めまして萩野様、岡林様成人おめでとうございました。

2病棟療育主任 濱田美和



HAPPY LIFE
家族の窓
No.27
萩野未来様
2病棟



「たからもの」

萩野祐楓(母)

再検査の日、時間になっても起きなくて、呼んでも返事がないので起こしに行く。目を見開いて動かない未来がいました。すぐに救急車で病院に行き、次に会えた時は全身チューブ、喉に器具が挿入され「この三日間が峠です」と。入学式の前日の事です。真新しい制服、教科書、カバン。憧れの高校へ進学出来て、幸せいつばいの未来でした。その3日前、熱があり病院に行った所、白血球の値が低すぎるので大きな病院に。「正常値に戻るまでは無菌室での入院になると思いますのでそのつもりで下さい」と、その救急車で送ってくれました。でも専門の科で「心配ないので薬を飲んで3日後に再検査します」と帰されました。愚かな私は「良かった、白血球じゃない」と喜んでいました。でも、その3日間は一步も外気に触れさせませんでした。が。「ウイルス性脳症」。一番近くにいたのに守ってやれなかった。成人式の頃、手紙が届きました。中3の授業で「20歳の自分へ」と書いていたものです。文の最後に「今、未来は幸せで。この手紙を読む未来も幸せでありますように。未来より。」



小さな時から行動的で、ピアノ、少林寺、キャンプ、よさこい、中1の時はオーストラリア2週間のホームステイ。「行ったら友達ができるから」と一人で参加出来るようになっていました。今も友達がいるにきてくれます。「未来が頑張っているから、私も頑張らなくっちゃ」って思う。とお父ちゃんも私も精神的に身体的に少し不安があるため、ほとんど2人で行動することが多いです。長時間いられませんが、マッサージ、ツボ押し等、出来る事をしています。本ならお父ちゃんも1人でフラフラと寄り道をしたい所でしょうが、それもなくままなりません(笑)。出来るだけ肩の力を抜いてヘラヘラしていたい。ヘラヘラ出来るって実はとても幸せな事なんだと思っています。元気な時は当たり前だった事。私の目を見て「お母さん」って呼んでほしい。私は泣きたい時は声をあげて泣いて、切り替えスイッチを入れて、やる気スイッチを押して前を見ます。未来は皆様の支えで頑張っています。未来を元気に卒業させてあげたい。いたって本気です(笑)。今日もヘラヘラ頑張っています。これからもどうぞよろしく願います。

ちよつとい話

平成26年度 事業計画(重点目標)

法人全体

- 「土佐希望の家の理念」と「私たちの行動指針」を徹底し、土佐希望の家の職員としての誇りと責任を持ち行動する。
- 医師をはじめとする職員の安定的な確保に努める。
- 上司、部下の役割を確認し、報告・連絡・相談を一層徹底する。このことを踏まえ情報の共有の徹底を図る。
- 土佐希望の家の在り方を検討する。
 - ・中期的、長期的な視点に立ち、在り方を検討する。※経営の安定化、事業展開の内容、施設整備等
- 土佐希望の家からの情報発信を強化する。
 - ・役割、実施事業等の発信
 - ・行政施策への提案
- 3病棟療育部門(あざみ・ひまわり)の一体化を進める。
 - ・27年度の一体化の実現を目指す。
- 与薬ミス、骨折事故、その他のヒヤリハット・事故の数を減少させる。また、院内感染の防止に努める。
 - ・報告様式等を見直し、ヒヤリハットを報告しやすくする。
 - ・ヒヤリハット・事故報告事例の共有を徹底し、同じ内容の発生を減少する。
 - ・骨折事故は、発生しないように努める。
- 大規模地震対策を検討する。
 - ・防災計画の見直し、BCP 作成に向け検討する。
- 施設運営会議の機能強化
 - ・協議の場としての機能を活かす。
- 職員能力開発制度を検証する。
 - ・人材育成等の面からの評価を行う。
- PDCA サイクルのフレームワークを意識して事業展開を図る。

※事業計画は法人全体のみ抜粋しています。
各部署についての目標は、ホームページをご参照下さい。



平成26年 6月29日(日)、14時～15時
通園ホールにて「中年祭り」を開催します。
中年は何歳からか調べてみると一説に：45～64歳とあります。さあ、これを知った上で出演者に注目してみ下さい♪
新人職員祭りに影響された自称中年職員が「フォーク&青春の歌」や「漫才」など楽しい演目を揃えてお待ちしております。

中年祭りの報告



3月9日(日)。ついにこの時が来ました。新人祭りです。今回私達、新人「チーム愛」はAKB48になりきり「フォークンクッキー」の踊りを各病棟で披露しました。3病棟から始まり、続いて2病棟、最後は1病棟で踊り、利用者さんと一緒になって踊ったりすごく楽しい新人祭りが行えました。全員がそろつての練習はなかなか予定が合わず厳しい事もありましたが、3月に入り本番間近という事で練習を朝・夕に分け、来れる日は出てくるよう毎日の練習に励みました。練習では、お互いが出来ない振り付けを教え合ったり協力し合いました。この頃から、チームのまとまりが段々うまれ、いい物をみんなに見せたいという思いで取組み、チームが一体となる事が出来ました。この感動を忘れず今後も同じ仲間として支え合っていきたいです。 3病棟 濱田夏佳

新人職員祭の

ハッスル神社

☆願いを叶えるハッスル神社

第3弾・抽選会、盛大に開催される
3月3日11時、ハッスル神社前に大勢の人たちがあつまり、歌と踊りで清めの願かけを行い、第3段・抽選会が盛大に開催されました。特別賞を含め4人の利用者さんの「夢」が当選しました。おめでとうございます。前回の「夢」の実現は：

①好きな元職員さんのお家に泊った高橋さん



②電動車いすを運転して、生まれ育った街を兄と散歩した田中さん



③奏山公園でお母さんと学校先生といっぱい遊んだ豪仁くん



④牧野植物園でデートをした下司さん

それぞれが職員のサポートにより楽しい一日を過ごしました。そこには感動的な出会いもあり、皆さんとてもいい表情で喜んでおられました。

第3弾の当選した「夢」は、中内さんの①美味しいコーヒーをA職員さんと飲みたい、野澤さんの②いっぱいドライブをしたい、今井さんの③おいしいスイーツを食べたい、橋本さんの④お姫様になつて家族写真を撮りたい、の4つです。この夢はどのように叶えられるのか、とても楽しみです。サポートにあたる職員さんたち力を合わせて頑張る。



通園遠足



通園増築

生活介護事業所が広く、便利になりました。昨年の9月から工事が始まり、1月中旬に完成し利用が始まりました。工事期間中は大きな音や狭い所に別れての通園事業となり、利用者の皆様には大変なご迷惑をおかけしましたが、毎日元気に明るく通園をしてくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

良かった点、やはり広々伸び伸びと気持ちがいいです。そしてなんとと言っても天井走行リフトです。稼働範囲内なら何処へでもいきます。トイレの中にも入っています。よくない所は掃除が大変になったことです。そんなことを言つては「ばち」が当たります。

今年度は広くなった分、利用者様も増えています。今までは、狭さゆえにご利用回数を制限させていただくことがありましたが、これからは、より多くのご利用が可能になりました。それでも、定員というものがあつて、無制限に増えるものではありませんが、これからもご利用の皆様とともに安心・安全な生活介護事業所「やまもも」であり続けたいと思います。 通園課長 川崎博之

ロードレース大会



5月14日第7回ロードレース大会が開催されました。このレースは事前にゴールの予想タイムを決めておき、本番でどれだけ予想タイムに近付けたかで結果が決まります。早くゴールすればいいという訳ではないので、皆さん作戦を練つての挑戦です。まず今大会の景品の発表があり、商品券や図書券などがあげられ、商品券で何を買いたいなどとレース前から大盛り上がりでした。



結果は自力部門1位濱崎源太様(やまもも)、電動車椅子部門1位は村上初美様(あざみ)、介助部門1位はなんと!!予想タイム通りのゴールで古宮守様(こすもす)でした。



後援会総会のお知らせ

☆6月15日(日)17時より高知会館で開催
4年目を迎える後援会は、希望の家祭りのバザー、改築リハビリ室の祝餅投げ、テントの寄付、ビックバンドの演奏会、幡多希望の家での利用者交流会、玄関に花プランターの寄付等の活動を行ってきました。今年も土佐希望の家への後援活動を行っていきます。

6月15日の総会では、今年度の活動計画を協議し、その後、懇親会をおこないます。会員の皆様の出席をお待ちしております。当日入会の方も参加歓迎します。

(連絡窓口・小谷まで)